

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	3	職員配置の基準は当然満たして運営している。しかし、20名の利用者を特性別に3つの訓練室に分けて対応しているため、訓練室毎で見てもっと職員数を手厚く配置して支援を手厚くしたいと考える場面は生じている。そのような場面では、安全確保を優先した職員配置になることがある。職員は動き負わずに支援に対応しているため過酷だと感じることがある。サブの職員の在り方をより明確にしていくな必要を感じている。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	4	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1	令和5年に床の張替え工事を行い、バリアフリーだけでなく環境美化の改善も行った。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1	運営方針が明確に出されるようになり、運営のシステム化が構築されてきている。職員による改善が動き始めている。加えて、保護者の声にも真摯に向き合っているため大切にしている。現状維持は退化でしかない。常に改善あるのみ。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	当然公開している。(事業所からの通信とホームページ)
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	0	連携のために来所された専門職の方に運営改善に関する意見を求めることを心掛けている。改善のヒントになることがある。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	運営の要は「人材の質」であり、研修を運営方針の重点に設定している。パート職員向け紙面研修も行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	支援計画が要である。当然支援のベクトルや内容についての保護者や関係機関との「共有」が欠かせない。保護者や利用者のニーズを把握したものでなければ意味がなく、支援計画の内容を常に吟味し改善し続けている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	5領域を意識した支援を支援計画に位置付けているが、アセスメントや重点の位置づけに職員間のばらつきがまだ多少ある。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2	訓練室毎の担当職員が計画立案を行っている。今後は事業所としての支援プログラムとして構築を図っていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	・意図的・計画的な支援プログラムとなるように工夫している。チームとして共有と活用が一層進むように取り組んでいく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	0	訓練室ごとに行う小集団課題に加え個別の支援課題を設定し、支援を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	3	朝のミーティングでは9時から受け入れる児童発達支援についての内容が中心になるため、放課後等デイサービスの内容が十分でないこともある。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2	退勤前に職員室に集まり気になることを出し合っている。翌日に向けての要配慮事項も確認している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1	効率的で的確な記録の在り方について繰り返し検討を重ねているが、職員の負担がまだまだ大きく、ICTの活用を検討している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	PDCAをより機能させるためのモニタリングの在り方を
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1	5領域を意識した支援が意図的計画的に行えるように支援計画に位置付けることが職員に浸透してきた。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	施設内に相談支援事業所が併設されている。利用者ごとの担当職員と児童発達支援管理責任者の2名が相談支援専門員と日常的に連携している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	0	確実に情報共有と関係機関連携を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	1	キーマンは保護者である。医師からの処方・指示書を保護者と共有し、発作時の対応等についても確実に共有と連携している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1	ほとんどが児童発達支援からの利用者であり、年長児までの段階で情報共有を確実にしている。そのため、就学後に連携する必要がほとんどない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	1	保護者から高等部の1年や2年の段階から情報提供をと丁寧な進路決定を求める声が出されており、個別に対応している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	個別のケースワークでは専門機関と連携することはある。しかし、限られている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	5	地理的な条件や障害の程度を考慮して行っていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	6	管理者・児童発達管理責任者が令和6年度も市の会議・研修に参加した。全てではない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	利用日には帰りのお迎えを保護者をお願いしている。その際に担当職員がその日の活動の様子や課題について具体的に伝えている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	5	困ってみている保護者に対して、子どもへの対応の在り方や環境を整える観点について面談をすることは意図的に行っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	当然行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	児童福祉司・主任児童委員・スクールソーシャルワーカー経験の社会福祉士もあり、様々な困り感に対応できている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	5	保護者同士のつながりを望む声が届いている。保護者会というより子育てサロンというお茶会から始めていくことを検討している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	ちょっと気になる小さな出来事についても保護者と共有を図り、困り感が生じないように心掛けている。事故の発生や苦情に対しては「日をまたがない対応」を徹底し、真摯に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	「ゆりかごメッセージ」を発行し、情報提供を発信している。使わなくなったおもちゃや絵本などの寄付の依頼もお便りで行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	8	0	当然留意して対応している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	合理的配慮の質の向上に努力している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	4	立地的に交流は難しいと考えている。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	0	感染情報を大きく掲示するなど、「共有」と「見える化」に心掛け、保護者にも啓発を行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1	主に職員を対象にした訓練を年2回行い、消防署に報告も提出している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	施設内研修の他に、厚生労働省・岐阜県による障害者虐待防止研修(動修)を非常勤職員も視聴し研修した。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	0	訓練室からの飛び出し・自傷・他害等の危険がある場合に訓練室を施錠することがある。全保護者に説明し同意書も整えている。記録簿も記録している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2	保護者と確認しおやつの成分について確認を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	二度と同じ事案を発生さないように1年前のヒヤリハット事案を職員で共有し、職員研修に活用している。

|